

目次

宮古郡地図（間切・村境界入り 明治30年代推測図）
先島統治システム概念図

凡例	2
1、白川氏系図家譜支流（十三世恵若）	5
2、白川氏系図家譜支流（十三世恵増）	11
3、栄河氏系図家譜正統（一世真栄）	43
4、長真氏系図家譜支流（四世旨栄）	51
5、仲立氏系図家譜正統（一世幸憲）	57
6、捧銭氏系図家譜正統（一世建業）	73
付録① 宮古の系図家譜	80
付録② 系図家譜未確認の宮古に伝わる氏姓	85

凡 例

一、本書は宮古島市史資料2「宮古の系図家譜」とする。

二、本書は、『平良市史編集だより』など、既刊の紙誌より、著者及び発行元の了解を得て採録した。新たに採録するにあたり、著者に再度複写本にあたって校正してもらい、一部修正したところもある。

三、本書掲載家譜の既刊紙誌は次の通り。

- 1、『平良市史編集だより』第21号 平良市史編さん事務局 一九八八年
史料紹介 「白川氏家譜(支流)」 平良勝保
- 2、『沖縄文化』第78号 沖縄文化協会 一九九三年
資料紹介 宮古島の家譜「白川氏支流家譜」 平良勝保
- 3、『宮古・下地町調査報告書(1)』地域研究シリーズNo.15 沖縄国際大学南島文化研究所 一九九〇年
史料紹介 栄河氏系図家譜正統について 仲宗根將二
- 4、『宮古研究』第7号 宮古郷土史研究会 一九九六年
史料紹介 「長真氏支流系図家譜」について 仲宗根將二
- 5、『宮古島市総合博物館紀要』第12号 宮古島市総合博物館 二〇〇八年
史料紹介 仲立氏正統系図家譜 仲宗根將二
- 6、『宮古研究』第8号 宮古郷土史研究会 二〇〇〇年
史料紹介 捧銭氏家譜 平良勝保

四、発表紙誌の活字組み体裁は、それぞれ違うが、本書では、二八字二段組みに統一した。

五、採録にあたって、凡例は、『平良市史』第三巻および第八巻の凡例に基づき統一した。また、原著にある解説は採録しなかった。個々の解説については、原著にあたられたい。

六、巻末に現存する宮古の系図家譜（68件）及び家譜未確認の宮古に伝わる氏姓（36件）を掲載した。

①配列は、宮古系、沖繩本島系の順にかつ家譜数の多い順とした。同氏の支流は世代の早い順とした。

②No.欄の上段は宮古に伝わる氏姓の一連番号。

③No.欄の下段は現存する系図家譜及び家譜未確認の宮古に伝わる氏姓の一連番号。

④系祖名欄において、原文中の世・代を統一して世と表記した。

⑤屋号については『平良市史』第三巻等を参考にした。不明なものについては系図家譜所有者の姓を（ ）で示した。

⑥宮古に伝わる宮古系、沖繩本島系の氏姓は次の通り。（ ）の数字は宮古に伝わる氏姓の一連番号。

※現存する宮古の系図家譜

宮古系（1～18）……白川氏・忠導氏・根馬氏・玻立氏・仲立氏・栄河氏・河充氏・真世氏・長真氏・宮金氏・

南興氏・伊安氏・土原氏・浦渡氏・染地氏・造宮氏・奉始氏・捧銭氏

沖繩本島系（19～30）……向裔氏・馬統氏・英俊氏・衡平氏・侯隆氏・蔡孫氏・思明氏・武姓氏・益茂氏・雍姓氏・

姚孫氏・和種氏

※家譜未確認の宮古に伝わる氏姓

宮古系（31～36）……迎立氏・善持氏・新僮氏・新立氏・新志氏・川盛氏

沖繩本島系（37～66）……東茂氏・唐功氏・明勳氏・毛勝氏・毛裔氏・毛祐氏・毛輝氏・毛任氏・毛昌氏・金裔氏・

佐理氏・薛種氏・彭支氏・翁孫氏・段孫氏・蘇孫氏・湛孫氏・任孫氏・禄孫氏・鷹羅氏・

智間氏・川原氏・都栄氏・本照氏・武範氏・雍道氏・堀川氏・唐保氏・夏文氏・江貢氏

七、『平良市史』第三巻および第八巻の凡例を次頁に示した。

〈『平良市史』第三卷凡例〉

ホ、系図家譜のうち、系図は、二世ずつ一ページあるいは男系のみ十余ページに連続しているのが普通であるが、すべて一つの世系図に整理し、家譜にあるものは○印、ないものはアラビア数字を付して原文のまま三段組みで後記した。家譜は草・行書もすべて楷書になおし、二段組みで整理した。

へ、史料の覆刻にさいしては仮名遣、用字、句読点などは、できるだけ原史料にしたがったが、字母の関係で一部当用漢字に改め、さらに利用者の便宜を考え、一部次のように配慮したものもある。

ト、判読不能の文字はその数だけ□で、数の不明のものは□で、およその目安を示した。
チ、誤っていると思われる文字は右傍に(ママ)もしくは(…カ)と注記した。

〈『平良市史』第八卷凡例〉

①旧漢字は、原則として新漢字に直した。但し、人名(名乗り)については、旧漢字はそのまま生かした。なお、嶋・寫・附・歟などの別字・正字もそのままにした。

②助詞などの変体仮名は、漢字表記した。(例) 者(は)、茂(も)、江(へ)、而(て)、与(と)、楚(そ)など。
なお、「リ」「よ里」は、「より」に直し、「メ」は右傍に(して)と表記した。

③里之子・筑登之を表す略記は、それぞれ里之子・筑登之に直した。

④原文中、明らかな誤りは、右傍にカッコで正した。また、誤りと推定される場合は、右傍に「()カ」を付し、カッコの中に正しいと思われる文字を挿入した。さらに、誤りの可能性がある場合は、右傍に「()カ」と付し、カッコ内に可能性のある文字を挿入した。

⑤判読がむづかしく、翻読文字と別の文字の可能性が推定される場合は、右傍に「()カ」と付し、カッコ内に可能性のある文字を挿入した。
⑥虫食いや損傷などによって、判読できない文字や欠字については、その字数だけ□で示し、字数が不明な場合は、□でおよその目安を示した。また、そのような箇所、古文書の用例や別の史料などで推定が可能な場合は、右傍に「()」また「()カ」と付し、カッコ内に推定される文字を挿入した。

⑦脱字があると推定される場合は、右傍に「() 脱力」と付し、カッコ内に脱字と推定される文字を挿入した。一行脱と推定される場合は、一行をとり「() 脱力」と記し、カッコ内に推定される文字を挿入した。

⑧落丁がある場合、一行をとり「(落丁アリ)」と記した。また一丁落丁が推定される場合は、「(一丁欠力)」と記した。

⑨朱筆による削除文字は、文書の内容を解釈するうえで重要と思われる場合のみ、左傍に//を付し、収録した。訂正文字は、右傍に示した。

(例) 昔句踐方事吳ノ籌ニ做テ時ヲ待ニ

付録① 宮古の系図家譜

1												No.									
13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	系図家譜名	氏姓よみ	名乗頭	系	祖	名	屋号	系	掲載資料
白川氏系図家譜支流	白川氏系図家譜支流	白川氏系図家譜支流	白川氏系図家譜支流	白川氏系図家譜支流	白川氏系図家譜支流	白川氏系図家譜支流	白川氏系図家譜支流	白川氏系図家譜支流	白川氏系図家譜支流	白川氏系図家譜支流	白川氏系図家譜支流	白川氏系図家譜正統	系図家譜名	しらかわ	恵	元祖 与那覇勢頭豊見親惠源		大根間	宮古	『平良市史』第3巻	
しらかわ	しらかわ	しらかわ	しらかわ	しらかわ	しらかわ	しらかわ	しらかわ	しらかわ	しらかわ	しらかわ	しらかわ	しらかわ	氏姓よみ	恵	与那覇勢頭豊見親惠源十二世平良親雲上惠治三子				宮古	『平良市史』第3巻	
恵	恵	恵	恵	恵	恵	恵	恵	恵	恵	恵	恵	恵	名乗頭	恵	与那覇勢頭豊見親惠源十二世平良親雲上惠治三子				宮古	『平良市史』第3巻	
与那覇勢頭豊見親惠源十四世塩川与人恵最四子十五世 平良親雲上惠慈	与那覇勢頭豊見親惠源十二世平良親雲上惠治六子十三世 与那覇与人恵増	与那覇勢頭豊見親惠源十二世平良親雲上惠治五子十三世 与那覇与人恵若	与那覇勢頭豊見親惠源十二世平良親雲上惠治三子十三世 平良仁也惠顕	与那覇勢頭豊見親惠源十一世東仲宗根与人恵充四子十二世 新里筑登之惠真	与那覇勢頭豊見親惠源十一世東仲宗根与人恵充二子十二世 仲宗根筑登之惠隆	与那覇勢頭豊見親惠源十世川満目差筑登之惠盛二男川満仁屋惠政四男 川満仁也惠昌	与那覇勢頭豊見親惠源十世下地親雲上惠根三子十一世 平良親雲上惠信	与那覇勢頭豊見親惠源九世下地親雲上惠是次男十世 下地親雲上惠隆	与那覇勢頭豊見親惠源六世西仲宗根与人恵道四男阿良志狩八世 池間目差惠常	与那覇勢頭豊見親惠源六世惠盛島尻首里大屋子	与那覇勢頭豊見親惠源五世国仲与人恵昌	与那覇勢頭豊見親惠源五世国仲与人恵昌	系	恵	与那覇勢頭豊見親惠源十二世平良親雲上惠治三子				宮古	『平良市史』第8巻	
大三俵	大味俵	大味俵	大味俵	尻保立	(山内家)	(宮国家)	西根間	仲根間	(与那覇家)	下根間	(本郷家)	大根間	屋号	恵	与那覇勢頭豊見親惠源十二世平良親雲上惠治三子				宮古	『平良市史』第3巻	
宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	系	恵	与那覇勢頭豊見親惠源十二世平良親雲上惠治三子				宮古	『平良市史』第3巻	
『城辺町史』第1巻 『平良市史』第8巻	『沖繩文化』第78号	『平良市史編集だより』第21号	『平良市史』第3巻	『平良市史』第3巻	『平良市史』第3巻	『城辺町史』第1巻	『平良市史』第3巻	『平良市史』第3巻	『平良市史』第3巻	『平良市史』第3巻	『平良市史』第3巻	『平良市史』第3巻	掲載資料	恵	与那覇勢頭豊見親惠源十二世平良親雲上惠治三子				宮古	『平良市史』第3巻	

6	5		4			3			2			
26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14
栄河氏系図家譜正統	仲立氏系図家譜支流	仲立氏系図家譜正統	玻立姓系図家譜支流	玻立姓系図家譜支流	玻立姓系図家譜支流	根馬氏系図家譜支流	根馬氏系図家譜支流	根馬氏系図家譜正統	忠導氏系図家譜支流	忠導氏系図家譜支流	忠導氏系図家譜支流	忠導氏系図家譜正統
えいか	なかだて	なかだて	はだて	はだて	はだて	ねま	ねま	ねま	ちゅうどう	ちゅうどう	ちゅうどう	ちゅうどう
真	幸	幸	泰	泰	泰	定	定	定	玄	玄	玄	玄
一世 下地親雲上真栄	友利大殿幸憲五世仲嘉泊与人幸家二男宮国目差幸伴嫡子荷川取与人幸祐嫡子耕作筆者荷川取筑登之幸定四男 九世 宮国仁也幸房	一世 友利大殿幸憲	父多良間親雲上泰丘 七世 多良間仁屋泰偶	平良親雲上泰記五世砂川与人親雲上泰恭二男 六世 狩俣目差泰謙	元祖平良親雲上泰信四世洲鎌目差泰□長子洲鎌仁屋泰里三男 六世 洲鎌筑登之泰昌	川平首里大屋子定基六世西根間塩川与人定好嫡子 七世 国仲与人定義	川平首里大屋子定基六世西根間塩川与人定好嫡子 七世 下里筑登之定森	一世 目黒盛豊見親定政	仲宗根豊見親玄雅八世外間長子狩俣首里大屋子玄易当島詰役之時生産 十世 狩俣筑登之親雲上玄陳	男 仲宗根豊見親玄雅七世洲鎌村真屋洲鎌筑登之親雲上玄明二 八世 島尻仁也玄清	仲宗根豊見親玄雅七世伊良部首里大屋子玄源二男 八世 伊良部掬親雲上玄春	元祖 仲宗根豊見親玄雅
真屋	(下地家)	(本永家)	(来間家)	(砂川家)	(仲本家)	(国仲家)	西根間	大原	(富盛家)	(洲鎌家)	(伊佐家)	外間
宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古
『宮古・下地町調査報告書(1)』	『平良市史』第3巻	『平良市史』第8巻(系図のみ) 『宮古島市総合博物館紀要』第12号	『平良市史』第8巻	『平良市史』第3巻	『多良間村史』第6巻	『平良市史』第3巻	『城辺町史』第1巻 『平良市史』第8巻	『平良市史』第3巻	『平良市史』第3巻 『多良間村史』第2巻	『城辺町史』第1巻 『平良市史』第8巻	『城辺町史』第1巻 『平良市史』第8巻	『平良市史』第3巻

14				13		12	11		10	9	8	7	No.
39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	系図家譜名
土原氏系図家譜支流	土原氏系図家譜支流	土原氏系図家譜支流	土原氏系図家譜正統	伊安氏系図家譜支流	伊安氏系図家譜正統	染地氏系図家譜支流	南興氏系図家譜支流	南興氏系図家譜支流	宮金氏系図家譜支流	長真氏系図家譜支流	真世氏系図家譜正統	河充氏系図家譜正統	氏姓よみ
んたばる	んたばる	んたばる	んたばる	いあん	いあん	そめじ	なんこう	なんこう	みやがね	ちようしん	しんせい	かわみつ	名乗頭
春	春	春	春	方	方	実	明	明	寛	旨	平	真	系 祖 名
五世 土原豊見親春源四世西筋与人春森長男 東仲宗根与人春盛	四世 父土原豊見親春源三世多良間首里大屋子春良 塩川与人春簾	二世 土原豊見親春源四男 多良間首里大屋子春盛	元祖 土原豊見親春源	七世 豊見氏親方統曾孫下地親雲上方智三世国仲与人方里次男 国仲仁屋方行	一世 豊見氏親方統	三世 父砂川親雲上実忠嫡子新里与人実頼 川満与人実理	八世 父国仲与人明元七世川満仁屋明鏡 □□□仁也明圓	六世 国仲与人明元五世尻住屋川満与人明永 伊良部目差親雲上明静	八世 元祖知利真良豊見親寛忠七世下里与人寛長二子 与那覇与人寛棟	四世 砂川親雲上旨屋三世新里親雲上旨浄五男 喜佐場仁屋旨楽	一世 根間与人平道	一世 友利首里大屋子真敷	屋号
(端慶山家)	(仲松家)	(下地家)	仲籠	(国仲家)	イヤント	(砂川家)	(砂川家)	(上地家)	(高嶺家)	(砂川家)	(根間家)	下地川満	系
(多良間) 宮古	(多良間) 宮古	(多良間) 宮古	(多良間) 宮古	(伊良部) 宮古	(伊良部) 宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	宮古	掲載資料
『平良市史』第8巻 『城辺町史』第1巻 『多良間村史』第6巻	『多良間村史』第6巻	『多良間村史』第2巻	『平良市史』第3巻 『多良間村史』第2巻	未翻刻	『平良市史』第8巻	『平良市史』第8巻	『平良市史』第3巻	『平良市史』第3巻	『平良市史』第3巻	『宮古研究』第7号	『平良市史』第3巻	『平良市史』第3巻	

19			18	17	16	15		14				
52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40
向裔氏系図家譜支流	向裔氏系図家譜正統	向裔氏系図家譜正統	捧銭氏系図家譜正統	造宮氏系図家譜正統	奉始氏系図家譜正統	浦渡氏系図家譜支流	浦渡氏系図家譜正統	土原氏系図家譜支流	土原氏系図家譜支流	土原氏系図家譜支流	土原氏系図家譜支流	土原氏系図家譜支流
しようえい	しようえい	しようえい	ほうせん	ぞうえい	ほうし	うらと	うらと	んたばる	んたばる	んたばる	んたばる	んたばる
朝	朝	朝	建	布	財	常	常	春	春	春	春	春
尚氏浦添王子朝満四世下地親雲上朝裔長子 二世 塩川与人朝正	尚氏浦添王子朝満嫡子浦添王子朝喬六男浦添親方朝師宮古 島八重山島御検使之時多良間島生産之子 一世 下地親雲上朝裔	元祖尚氏浦添王子朝満長子浦添王子朝喬尚氏三司官浦添親 方朝師二男与那城親雲上朝牧長子三司官北谷親方朝暢二男 内間親方朝乘当島謫居之時生産之子 一世 平良親雲上朝忠	父砂川親雲上名子男蒲 一世 川満筑登之親雲上建業	父蒲砂川親雲上耕作飯筆者之時名子也 一世 川満筑登之親雲上布建	比嘉村百姓前里筑登之親雲上男子 一世 前里仁也財運	元祖多良間船筑常基四世塩川目差常守二男 六世 仲筋仁屋常業	一世 多良間船筑常基	父土原豊見親春源十世佐和田与人春福 十一世 伊良部首里大屋子春方	土原豊見親春源八世塩川与人春倫五男 九世 安慶名仁也春祀	父土原豊見親春源六世春仁 七世 多良間仁屋春方	土原豊見親春源五世多良間首里大屋子春良二男 六世 水納目差春徳	土原豊見親春源四世西筋与人春森二男 五世 西筋文字春充
角比佐世	多良間	前比屋	(川満家)	(川満家)	(比嘉家)	(宮城家)	宇屋計屋	(奥平家)	(伊志嶺家)	(富浜家)	前久志原	(仲宗根家)
沖繩本島	沖繩本島	沖繩本島	宮古 (新参)	宮古 (新参)	宮古 (新参)	宮古 (多良間)	宮古 (多良間)	宮古 (多良間)	宮古 (多良間)	宮古 (多良間)	宮古 (多良間)	宮古 (多良間)
『多良間村史』第6巻	『平良市史』第3巻 『多良間村史』第2巻	『平良市史』第8巻	『宮古研究』第8号	『城辺町史』第1巻 『平良市史』第8巻	『城辺町史』第1巻	『多良間村史』第2巻	『多良間村史』第6巻	『平良市史』第8巻 『多良間村史』第6巻	『多良間村史』第2巻	『多良間村史』第2巻	『多良間村史』第2巻	『多良間村史』第6巻

付録② 系図家譜未確認の宮古に伝わる氏姓

No.	氏姓	氏姓よみ	名兼頭	系	掲載資料	No.	氏姓	氏姓よみ	名兼頭	系	掲載資料
48	薛種氏	ぺきしゅ	賀	沖繩本島	『平良市史』第3巻	66	江貢氏	えこう	息	沖繩本島	『平良市史』第3巻
47	佐理氏	さり	安	沖繩本島	『平良市史』第3巻	36	夏文氏	かぶん	賢	沖繩本島	『平良市史』第3巻
46	金裔氏	きんえい	安	沖繩本島	『平良市史』第3巻	35	唐保氏	からほ	定	沖繩本島	『平良市史』第3巻
45	毛昌氏	もうしょう	安	沖繩本島	『平良市史』第3巻	34	堀川氏	ほりかわ	義	沖繩本島	『平良市史』第3巻
44	毛任氏	もうにん	盛	沖繩本島	『平良市史』第3巻	33	雍道氏	ようどう	孝	沖繩本島	『平良市史』第3巻
43	毛輝氏	もうき	盛	沖繩本島	『平良市史』第3巻	32	武範氏	ぶはん	崇	沖繩本島	『平良市史』第3巻
42	毛祐氏	もうゆう	盛	沖繩本島	『平良市史』第3巻	31	本照氏	ほんしょう	恭	沖繩本島	『平良市史』第3巻
41	毛裔氏	もうえい	盛	沖繩本島	『平良市史』第3巻	30	都栄氏	とえい	正	沖繩本島	『平良市史』第3巻
40	毛勝氏	もうしょう	盛	沖繩本島	『平良市史』第3巻	29	川原氏	かわはら	親	沖繩本島	『平良市史』第3巻
39	明勲氏	めいくん	長	沖繩本島	『平良市史』第3巻	28	智間氏	ちま	喜	沖繩本島	『平良市史』第3巻
38	唐功氏	とうこう	新	沖繩本島	『平良市史』第3巻	27	鷹羅氏	たから	本	沖繩本島	『平良市史』第3巻
37	東茂氏	とうも	政	沖繩本島	『平良市史』第3巻	26	祿孫氏	ろくそん	季	沖繩本島	『平良市史』第3巻
36	川盛氏	かわもり		宮古	『平良市史』第3巻	25	任孫氏	にんそん	忠	沖繩本島	『平良市史』第3巻
35	新志氏	あらし		宮古	『平良市史』第3巻	24	湛孫氏	たんそん	宣	沖繩本島	『多良間村史』第1巻
34	新立氏	あらだて		宮古	『平良市史』第3巻	23	蘇孫氏	そそん	憲	沖繩本島	『平良市史』第3巻
33	新備氏	あらすて	利	宮古	『平良市史』第3巻	22	段孫氏	かそん	德	沖繩本島	『平良市史』第3巻
32	善持氏	ぜんもち	紹	宮古	『平良市史』第3巻	21	翁孫氏	おうそん	盛	沖繩本島	『平良市史』第3巻
31	迎立氏	んかいだて	完	宮古	『平良市史』第3巻	20	彭支氏	ほうし	賀	沖繩本島	『平良市史』第3巻
No.	氏姓	氏姓よみ	名兼頭	系	掲載資料	No.	氏姓	氏姓よみ	名兼頭	系	掲載資料

30	和種氏系図家譜支流	わしゅ	景	四世 志堅原仁也景増	首里府和氏志堅原親雲上景平当島在番筆者之時生産之子来間与人景秀嫡子長間目差景頂三男	(池間家)	沖繩本島	『平良市史』第3巻
29	姚孫氏系図家譜正統	ようそん	元	三世 志慶真仁也元勇	中山首里府姚氏知念親雲上元明六世志慶真筑登之親雲上元義為在番筆者在勤之時生産之子志慶真仁也元矩	(立津家)	沖繩本島	『平良市史』第3巻
28	雍姓氏系図家譜支流	ようせい	興	八世 具志堅筑登之興朋	元祖雍可懋東風平親雲上興長七世具志堅筑登之親雲上興喬次男也	(真喜志家)	沖繩本島	『城辺町史』第1巻

翻刻

仲宗根 將二 (宮古島市史編さん委員長)

平良 勝保 (宮古島市史編さん委員)

宮古島市史資料 2

宮古の系図家譜

平成二十一年三月三十一日 発行

編集 宮古島市教育委員会文化振興課

発行 宮古島市教育委員会

〒九〇六―八五〇―一

沖縄県宮古島市平良字西里一八六番地

電話 〇九八〇(七二)三七五一